

2025年度

JPI催しのご案内

オンライン配信

医薬品包装セミナー

～価値を高める医薬包装イノベーション【環境配慮設計×患者中心設計】～

日 時 令和8年3月6日(金)

【医薬品包装セミナーの参加申し込み方法について】

JPIホームページ(URL:<https://www.jpi.or.jp/>)より参加登録をお願いします。

Zoomを利用したオンラインセミナーとなります。

お申込みの方に、事前登録等の手続きをメールでご案内します。

主催: 公益社団法人日本包装技術協会

プログラム

| 時 間 | 講 演 内 容 | 講 師 |
|---------------------|---|--|
| 13:00 ～ 13:50 | ■医薬品包装分野におけるバイオマスプラスチック導入推進・強化について ～バイアル保護包装のバイオマス化と採用に至る開発実録～ 脱炭素社会の実現に向け、医薬品包装におけるプラスチック資源循環の重要性が高まっています。しかし、医薬品包装は「製品の保護」と「安全性の担保」が最優先されるため、環境配慮型材料への転換には高いハードルが存在します。 本講演では、当社が取り組んだ「医薬品バイアルの破瓶防止用樹脂製プロテクター」のバイオマス化事例を詳説します。材料選定から品質評価、そして製薬会社様との協働を経て採用に至るまでの具体的なプロセスを紹介するとともに、医薬品包装分野でバイオマスプラスチックの導入を成功させるための鍵と今後の展望について考察します。 | (株) ILファーマパッケージング BD部 グローバルレマーケティンググループ長 炭谷 彰氏 |
| 14:00 ～ 14:50 | ■PTP包装におけるモノマテ化・リサイクルサービス提供取組について 永年取扱いのある超高防湿PTPのノウハウを下地に、ドイツEtimex社製モノマテリアルPTPの日本総代理店として環境配慮を推進しております。日本特有の印刷レギュレーション・成型技術の検証を経て当該製品を販売いたします。また、使用済みPTPのケミカルリサイクル技術を用いた水平リサイクルサービスの提供に向けて実証実験中であり、これまでに行ってきた検証内容についてご説明をいたします。 | 双日プラネット(株) 高機能パッケージングBU第2課 副課長 伊原 崇全氏 |
| 15:00 ～ 15:50 | ■カラーユニバーサルデザインの視点から考える医薬品包装デザイン 色の感じ方は人によって様々であり、少数派の色覚タイプにとって色分別が難しく、見落とし・誤解・誤認に繋がるケースが少なくない。カラーユニバーサルデザイン対応を進めることでこうしたケースを未然に防ぐことができる。 色覚の多様性とはどのように見えるのかといった基礎的な内容から、実例や最新の動向を踏まえて、医薬品包装での取り組みについて考える。 | NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構 事務局長 伊賀 星史氏 |
| 16:00 ～ 17:00 | ■患者目線と薬剤師の視点から考える医薬品包装の役割と可能性 医薬品包装は、単に「開けやすい」「分かりやすい」といった物理的・視覚的性能にとどまらず、患者の服薬行動や治療継続、さらには医療従事者の業務のあり方にも深く関与する要素である。とりわけ高齢者や慢性疾患患者が増加する現在、医薬品包装には患者が安心して正しく服用できることとともに、医療現場の負担軽減に寄与することが求められている。 本講演では、患者目線に立った医薬品包装の課題を整理するとともに、薬剤師の新しい働き方という観点から包装設計の可能性を考察する。服薬指導や在宅医療、オンライン服薬指導の普及により、薬剤師が患者と関わる場面や手段は大きく変化している。こうした変化の中で、包装は「説明を補助する媒体」「誤服用を防ぐ仕組み」「患者と薬剤師をつなぐインターフェース」としての役割を担い得る。 具体的には、患者が包装からどのように情報を受け取り、どの段階でつまずきや不安を感じるのかを臨床現場の視点から紹介するとともに、包装設計が薬剤師業務の効率化・高度化にどのように貢献し得るかを議論する。人間工学的評価が示す「使いやすさ」に、医療現場の文脈と患者の生活実態を重ね合わせることで、今後の医薬品包装に求められる設計思想と実装の方向性を考える。 | 横浜薬科大学 薬学部・准教授 鈴木 高弘氏 |

講師のご紹介

| | |
|----------------------------|--|
| ■ 炭谷 彰(スミタニ アキラ) 氏 | 株ILファーマパッケージング BD部 グローバルマーケティンググループ長 |
| ご略歴 | 1996年株式会社岩田レーベル(その後現社名へ社名変更)に入社。営業、品質保証、製造、開発と様々な部署を経験し現在に至る。 |
| ■ 伊原 崇全(イハラ タカアキ) 氏 | 双日プラネット(株) 高機能パッケージングBU第2課 副課長 |
| ご略歴 | 関西外国语大学 英米語学部 英米語学科卒業、2018年双日プラネットに途中入社し主にバリア樹脂・フィルム・バイオマス樹脂・医薬包装資材等の販売に従事。 |
| ■ 伊賀 星史(イガ セイシ) 氏 | NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構 事務局長 |
| ご略歴 | 広告写真、教科書会社のユニバーサルデザインなどを担当し NPO 法人 CUDO へ CUDO では教科書、ゲームデザイン、防災関係、機器、交通、スポーツ分野を担当。 |
| ■ 鈴木 高弘(スズキ タカヒロ) 氏 | 横浜薬科大学 薬学部・准教授 |
| ご略歴 | 医薬品メーカー研究員として製剤・包装関連業務に従事した後、病院・薬局薬剤師として医療現場に携わる。現在は横浜薬科大学において教育・研究に従事し、特にこれからの薬剤師の働き方、臨床現場と技術をつなぐ社会実証などを展開している。製剤機械技術学会等の学会活動を通じ、医薬品包装および医療トレーサビリティに関する研究・社会連携に取り組んでいる。 |
| 有資格・著書 | 薬剤師・医薬品製剤・包装、薬学教育に関する著書・分担執筆多数 |

医薬品包装セミナー企画委員

※本催しは各企業から推薦された企画委員によりプログラムを編成しております

| | | |
|-----------|------------|--|
| ●溝呂木太郎 委員 | 全薬工業(株) | OTC開発部 包装企画課 課長 |
| ●堤 正一 委員 | 岡田紙業(株) | 営業部 部長 |
| ●濱島 利彦 委員 | ゼリア新薬工業(株) | 生産技術部 課長 |
| ●小澤 哲也 委員 | 第一三共(株) | テクノロジー本部 生産統括部 平塚工場 第三製造部 製造第一課 課長 |
| ●高森 寛子 委員 | 大日本印刷(株) | Lifeデザイン事業部 第3ビジネスユニット 開発本部 製品開発第2部第2グループ リーダー |
| ●廣島 真一 委員 | (株)力ナ工 | 包装技術開発センター 第一包装技術開発部 開発グループ マネージャー |
| ●鈴木 潤 委員 | ZACROS(株) | 研究所 製品開発1部 樹脂機能開発グループリーダー |
| ●舟越 由香 委員 | 中外製薬(株) | 製薬技術本部 製剤研究部 企画・包装グループ |

開催要領

■日時:令和8年3月6日(金)13:00~17:00

※Zoomを利用したオンラインセミナーです。

■定員:100名

■参加費:

| 1名分参加費 | 会員 | 一般 |
|--------|--------|---------|
| 本体 | 9,000円 | 20,000円 |
| 消費税 | 900円 | 2,000円 |
| 税込み合計 | 9,900円 | 22,000円 |

【注意事項】

- ①「Zoomウェビナー」を利用したオンライン配信となりますのでご利用の端末へのZoomアプリケーションのインストールおよびインターネット接続が必要となります。
- ②接続回線の状況により視聴しにくい場合があります。通信費・接続利用料金等は自己負担となります。
- ③本セミナーの内容について、録画・録音・キャプチャー取得によるデータ保存行為を固く禁止します。
- ④申し込み際メールアドレスの入力が間違っていると案内メールをお送り出来ませんのでご注意下さい。
- ⑤開催3日前からのキャンセルによる参加費のご返金はできませんのでご注意下さい。

【個人情報の取り扱いについて】 1.個人情報は「2025年度医薬品包装セミナー」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。なお、作成資料は、開催当日、関係者に限り配布する場合があります。2.参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示・提供することはありません。

お問い合わせ先

公益社団法人日本包装技術協会 医薬品包装セミナー係 担当:佐藤

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
TEL.03(3543)1189 FAX.03(3543)8970 e-mail:satou@jpi.or.jp